

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	多機能型事業所ごうていんく若世ヶ原	公表日	令和8年3月1日
		利用児童数	6人
		回収率	83%

	チェック項目	%				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100				子どもたちがのびのび活動するのに十分だと思います。	安心して外遊びができるスペースを確保していきたいと考えています。(泥あそび場、運動できる場など)
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100				今は、利用者が少ないので多く感じますが、利用者10名になっても適切だと思います。	子どもたちの状況に合わせ、配置人数を調整しています。R8は1.2~1.5:1程度の割合を想定しています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100				子どもそれぞれが自分で遊びたい使用したいものを選びやすく、整理されていて良いと思います。	日々、子どもの状況の変化に合わせて展開していくことを大切にしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100				子どもそれぞれが自分で遊びたい使用したいものを選びやすく、整理されていて良いと思います。	日々、子どもの状況の変化に合わせて展開していくことを大切にしています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	60	20		20	無理なく本人ができることを支援してもらえていると思います。ただ、専門性があるか?と聞かれたらわかりません。	基本的な学びとしては、子どもの発達と診断を軸にしていますが、常に大切にしていることは人格尊重の姿勢です。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100					個別支援計画を綴るファイルで、支援が継続的かつ系統的に実施されているかを相互確認していきます。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	100				きちんと、細かく作成されているので安心して日々、支援をお願いできています	定期的な保護者面談は年に2回ですが、常に情報交換できるように努めていますので、ご協力願います。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100				きちんと、細かく作成されているので安心して日々、支援をお願いできています	「本人支援」は常に継続されていますが、「家族支援」については個別に対応し、「移行支援」はその時期に該当した子どもたちを対象としています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100					定期面談時や送迎時等を活用し、常に情報交換を行いつつ、子どもの状況に合わせて進められるように努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	60			本人の希望もあると思うが、同じ遊びが多いように感じます。	支援、指導のなめは具体的手立ての豊富さにあると思っています。常に工夫をするよう努めています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	100				積極的に活動されていると感じます。	地域の児童クラブとの交流を継続しつつ、また、地域の子どもたちを巻き込む行事等に積極的に参加しています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100					常に意識して取り組んでいます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100					丁寧に説明することを意識しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	40	40		20		生活介護やB型と合同となるサロンがありますが、平日開催なので、必要であれば、デイの保護者会を再検討します。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100					連絡帳や送迎時等で常日頃から情報交換できる体制を意識しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100					常に相談を受ける体制を整えています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	80	20			とても共感的に支援していただいていると思います。	ひとりの人格を尊重することを常に大切に考え、指導員を含めた発達の共感関係の構築を重要視しています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		40	20	40	保護者会があるかわからない。	保護者交流の場であるサロンがあります。事業所におけるイベントとしては感謝祭がありますが、デイ単独の家族等を巻き込んだイベントも今後検討していきます。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか。	100					難しい手続きがあるわけではなく、思い立ったときに声をかけていただきたいと考えています。気になることは些細なことでも連絡帳への記載をお願いしています。
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100					個人情報漏えい等の観点から十分に配慮しています。	
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100				おたより等を入れたとき、受け取ったときに、連絡帳に記載してもらえると良い。(特にお金が入っている時)	送受信等あるときは連絡帳に記載するようになっています。基本的にはHPを通して発信しています。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100					十分に配慮しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100					HPやおたより、各業務分担等からの発信文書等で周知しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100					年度当初に年間計画を文書通知していません。訓練等の状況についてはHPで情報発信しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100					事故防止等の観点より、取り組みを進めることに確認しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100					対象者に対しては時間差を生じないように情報伝達をしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100				大切な居場所になっていると思います。	常に意識して取り組んでいます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100				帰宅後は穏やかになりました。サッカー、製作（絵の具）を楽しみにしている。	常に意識して取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	80		20		安心して利用させてもらっています。身体を動かす遊びを増やしてもらいたい。	常に意識して取り組んでいます。少しずつ増やしつつあります。